



『咲む』上映会ニュース 2020年8月28日 NO.1  
発行：全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画製作委員会  
〒162-0801 東京都新宿区山吹町130SKビル8F  
TEL: 03-3268-8847 FAX: 03-3267-3445  
E-mail: movie@jfd.or.jp  
公式サイト: <https://www.emu-movie.jp>  
Instagram: [https://www.instagram.com/emu\\_movie/](https://www.instagram.com/emu_movie/)  
Twitter: [https://twitter.com/emu\\_movie](https://twitter.com/emu_movie)

## 『咲む』製作発表記者会見



- 8月16日(日)、神奈川県横浜市西公会堂で『咲む』製作発表記者会見が行われ、製作総指揮・石野理事長、総合プロデューサー・久松事務局長、監督・早瀬憲太郎さん、主演・藤田菜々子さん、出演・島かおりさん、丘みつ子さん、河本準一さん(次長課長)、『咲む』題字揮毫・金澤翔子さんが出席しました。
- ★石野理事長：全日本ろうあ連盟はきこえない人たちだけではなく、きこえる人たちとも力を合わせて70年運動を続け、様々な差別や法律と闘ってきた。その苦勞を表すのではなく、私たちが目指す共生社会を表す映画を製作した。ぜひ多くの方々に観ていただきたい。
  - ★久松事務局長：非常に演技力が求められる映画。2009年の『ゆずり葉』製作の経験がとても役にたった。きこえる人の文化である映画をきこえない監督や役者が挑戦し、きこえる人と共に、すべての人が楽しめる映画を創り上げたことは大変意義深い。
  - ★早瀬監督：『咲む』は障害がテーマではなく、きこえる、きこえないに関係なく人間が持つ感情を描いた。これまで様々な人たちと出会い、その出会いが自分自身を成長させていただき、その出会いがこの映画を生み出した。その物語を『咲む』に表すことができた。
  - ♥藤田菜々子さん：脚本を読んだとき、これから私たちが必要なことは過去の運動を知ったうえで、新しく出会う人たちに、自分が何ができるのか、何がしたいのか、伝えたり聞いたりすることが大切と思いました。相手の気持ちを受け止め、行動する瑞月の姿勢が出せるように頑張りました。
  - ◆島かおりさん：以前『名もなく、貧しく、美しく』に出演し、ご縁があると思いました。どう演じるかといろいろ思いましたが、現場では八重が勝手に動いてくれたようでした。映画を観て元気をもらったし、人はひとりでは生きていけない、助け合って生かなければいけないことを痛感しました。
  - ♠丘みつ子さん：脚本をもらって思ったのは私の好きな言葉、「素直」になること。生まれてきてくれたことへの感謝、愛情込めて人を育てる、みんなで良くしていこうね、この映画で表されている世界と同じ、みんなに素直に生きていると思います。出会いの大切さを再確認できました。
  - ♣河本準一さん：僕が手話と出会ったことで『咲む』に出演できた。きこえない人の言葉ではなく、みんなが共通する言葉なんだ、となればいい。人に対して優しく、愛情を持って接することができる社会になれる。『咲む』はそういったことを考えさせられる映画なので、ぜひみんなに観てもらいたい。
  - ✍金澤翔子さん：『咲む』は素晴らしい映画でした。心を込めて書きました。瑞月ちゃん、かわいかった！私も映画に出たいです！

## ＝神奈川県横浜市で『咲む』全国初上映！＝



<石野理事長>



<河原理事長>

8月16日（日）神奈川県聴覚障害者連盟（以下神聴連）主催による『咲む』上映会が、横浜市西公会堂で開催されました。事前に会場、行政と協議を重ねた新型コロナウイルス感染防止対策を施し、安心してご覧いただける環境をつくり、11時の回、14時の回ともにチケットは完売！

それぞれ、会場定員の250人（通常の1/2設定）合わせて500人が来場され、『咲む』の世界をお楽しみいただきました。今回、神聴連では上映会情報をウェブサイト・SNSで積極的に発信、チケット購入サイトを開設、会場販売もキャッシュレス（PayPay）対応、アンケートも手書きではなくQRコードで対応など、新しい試みが満載でした。その結果、手話関係者以外の一般の方から大変多くのお申込みをいただきました。

まず、全日本ろうあ連盟・石野理事長からご挨拶がありました。

「多くの方に来ていただき大変うれしく思う。きこえる人きこえない人が共に生きる社会をつくるため、そして手話言語、ろう者の文化の素晴らしさを伝えるために『咲む』を制作した。ここ神奈川の成功が全国の励みになる。ここをきっかけとして50万人、いや全国100万人に観ていただきたい」

続いて神聴連・河原理事長からご挨拶がありました。

「すべての人が生まれてきてよかったと思える社会をつくるには私たちは何をすべきか、考えさせてくれる映画。このテーマは今神奈川県で取り組んでいる『ともに生きる社会かながわ憲章』の理念と同じ。この映画一人でも多くの方に観ていただき、『ともに生きる社会かながわ』を実現していきたい」

『咲む』が始まります。115分の心地よい時が流れ、上映終了後は、感動と称賛の拍手の波！

その後、舞台上に書道家・金澤翔子さんが揮毫した『咲む』が登場、続いて早瀬憲太郎監督、主演の藤田菜々子さん、島かおりさん、丘みつ子さん、河本準一さん（次長課長）、金澤翔子さんが登壇し、楽しい舞台挨拶が行われました。そして、映画『咲む』及び神聴連の方々の運営に満足されたご来場者から47,000円を超える募金を頂戴しました。皆様、ありがとうございました！



### ＝舞台挨拶＝

◆早瀬憲太郎監督：皆さん観てもらえて本当にうれしいです。一人ひとり感想をききたいけど今日は司会を。映画の感想と撮影現場で印象に残ったことをお願いします。

♥藤田菜々子さん：うまく演技できてたかな？この映画のメッセージを自分の演技で皆様に伝えられることができていたらとてもうれしいです。現場はものすごく田舎の雰囲気でしたが、まさかイノシシがいるとは！現場で食べたイノシシ鍋が忘れられません！

→現場で一番の印象が映画と関係ないかい！？（早瀬監督）

◆島かおりさん：瑞月ちゃんの魅力満載でとても元気をもらいました。この映画に参加できてうれしかったです。瑞月と八重が仲直りするところ、自分で演じていてほろっとしました。普通とは違う、音のない静かな現場なのですが、熱が伝わってくる現場でした。とてもいい、貴重な経験をさせてもらいました。

♣丘みつ子さん：こんなに清々しい映画になるなんて。今、心が清らかになってます。でも早瀬監督が横浜から現場の秦野まで自転車で来たのが信じられない。脚本も書いて、こんな監督はじめて（笑）。そして瑞月ちゃんは何も食べないの！これがエネルギーになっているのね、いいなあと思ってましたよ。

♣河本準一さん：（手話言語で）河本です。映画の最初のほうに出ていたので、皆さん忘れてないですか？瑞月ちゃんの無音のシーン、手話言語をみんなが楽しく覚えたらもっといい世界になると監督から教えられたと感じた。現場は撮影の記憶がないほどスピーディに終わった。演技がよかったのか、時間がなかったのか（笑）

♣金澤翔子さん：『咲む』を観て、涙して、感動して、心を込めてこの字を書きました！



## ＝お客様の感想＝

●目が腫れちゃってるけど、最後泣いちゃって、泣いちゃって。おばあちゃんとかお父さんとかの気持ちがたまらなかったです。おばあちゃんがみんな話してくれたよと、娘がお父さんに話してくれるところがあるじゃないですか。たまらないですね。昔、母親が手話勉強してて、僕もちょっと勉強したことがあるんですけど、この映画観てまたもう一回勉強しなおそうかなと思いました。(きこえる人・男性)

●ほんとに主演の瑞月ちゃんがいきいきと生きている姿を見て本当にその姿に励まされたというか、一人一人が自分の役割を見つけて歩める社会になったらいいなと思っています。(きこえる人・女性)

●音声ガイドを初めて使ってみて、ちゃんと映画を楽しむことができました。場面や人物ごとに声を変えたり、雨などの情景の説明もとてもわかりやすく、自分が映画の舞台に入れるような表現をされていて、よかったです。音声はタイミングがぴったり合っていて、映画の中の台詞を邪魔しないような間に入ってきていて、聞きやすかったです。(視覚障害者・男性)



●聴覚障害に限らず、障害をもって産まれた子どもたちが健常者、きこえる人と同じように育てられること、一方で恥ずかしい、目に触れないように、障害を隠すように育てられること、どちらも当事者にとって自己肯定感のもてる育ちには繋がらないと思います。ありのままの我が子が輝くように子育てする方向に導く役割が教育や、子育て支援に携わる者に求められていると思います。早瀬監督の映画は、一人一人の命の大切さと一人一人が輝くように生きるためにどうしなければいけないのか、そんなメッセージを伝えてくれていた気がします。感動的な素晴らしい映画でした。たくさんの人々に見てほしいです。(きこえる人・女性)

●何回泣いたか分からないくらい、涙が出てきました。私が日常生活で感じる不自由さなんて、大したことない！小さなきっかけも見落とさず、前に進んで行きたいと思いました。(きこえる人・女性)

●物語として十分に楽しめた。障害のことだけでなく、ともに生きる社会の実現に向けて自分がどう考えてどう生きていくかを考えさせてくれる映画だった。映像がとてもきれいだった。エンディングの夏川りみの歌「花になる」もジーンときた。また観たいと思う映画だった。(きこえる人・女性)

●ろう者の視点で描かれた優生思想、そして、そのリアリティをさりげなく具現化したのはすごい。脱フィクショナルムービーの先駆け！(きこえない人・女性)

●瑞月さんを中心にいろんな方々とのふれあう中、それぞれの成長経過がよく出ていた作品だと思う。本当に大変なご時世ですが、観に行ってもよかったです。気持ちの浄化ができました。(きこえない人・女性)

●昨今賑わっているエンターテインメント映画(騒がしく、過剰演出)に辟易していたなか、そういう手のものではない、ゆったりと流れる、ひとの呼吸のような、芽吹く草花のような、人と人が触れあう、たゆたうような流れ、そこから発芽する思いのバトンがなぜか心地よかったです。観ながら、なんだろう？この心地よさは？と思考をめぐらすも、自ら思い到ったのは、おそらく制作にかかわっている人たち(監督、俳優たち)のやさしさ、映画への思いから醸しでてくるものではなか？という思いをもちました。(きこえる人・男性)



## 『咲む』グッズ情報



福岡県協会の皆さんは、毎日『咲む』Tシャツを着ているのでよく売れているそうです。1枚は個人負担で1枚はユニフォームとして配布しました！



クリアファイルはくマスク入れ>として大好評！  
Tシャツ、クリアファイル、付箋のご注文はお早めに！  
8月16日横浜市西公会堂上映会では「季刊みみNO168『咲む』特集号」も大人気、上映会での十分な準備をお忘れなく！  
皆さまのグッズ販売情報をお待ちしています！



愛知県協会事務所のディスプレイです。とてもカワイイですね！

## 『咲む』上映会情報

上映会実施計画書が提出されている上映会一覧（8月25日現在）

NO	日付	主催・地域上映実行委員会	都道府県	地区	会場
1	8月16日（日）	神奈川県聴覚障害者連盟	神奈川	横浜市	横浜市西公会堂
2	9月5日（土）	栃木県聴覚障害者協会	栃木	宇都宮市	とちぎ福祉プラザ多目的ホール
3	9月6日（日）	横浜市聴覚障害者協会	神奈川	横浜市	横浜市健康福祉総合センター 4階ホール
4	9月6日（日）	富山県聴覚障害者協会	富山	新川地区	黒部市民会館
5	9月13日（日）	富山県聴覚障害者協会	富山	富山市	富山市総合社会福祉センター3階大ホール
6	10月4日（日）	奈良県聴覚障害者協会	奈良	生駒郡斑鳩町	いかるがホール
7	11月8日（日）	鳥取県聴覚障害者協会	鳥取	米子市	米子市文化ホール
8	12月6日（日）	栃木市聴覚障害者協会	栃木	栃木市	栃木市都賀文化会館ハートホール
9	12月12日（土）	横浜市聴覚障害者協会	神奈川	横浜市	横浜市健康福祉総合センター 4階ホール
10	12月19日（土）	ひたちなか市聴覚障害者協会	茨城	ひたちなか市	ひたちなか市文化会館
<2021年>					
11	2月11日（木・祝）	横浜市聴覚障害者協会	神奈川	横浜市	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール 1階ラポールシアター
12	2月28日（土）	横浜市聴覚障害者協会	神奈川	横浜市	横浜市南公会堂
13	2月28日（土）	鳥取県聴覚障害者協会	鳥取	鳥取市	とりぎん文化会館

地域上映会の報告、『咲む』関連情報をお待ちしています！